

【図表3】THE世界大学ランキング2021の指標

※人数はFTE換算値。フルタイムの何人分に相当するかで示したものの
※本計算式は、プライスウォーターハウスクーパーズ(PwC)による第三者監査を受けている

分野	指標／指標中の割合	割合	対象年度	データ元	備考
教育	評判調査<教育>	15%	2019, 2020年	エルゼビア社評判調査	・評判調査は、エルゼビア社のデータベースからランダムに抽出された研究者(地域や学問分野の偏りを調整)が優れている大学を最大15校回答。加えてその15校と重複のない大学を自国から6校回答。2019年11~2020年2月実施。回答者数は2万人以上 ・大学の総収入は、各国の購買力平価で調整
	教員数*1/全学生数	4.5%			
	博士課程学生数/学士課程学生数	2.25%			
	博士号取得者数/教員数	6%			
	大学総収入/教員数	2.25%			
研究	評判調査<研究>	18%	2019, 2020年	エルゼビア社評判調査	・教育分野の評判調査と同じ
	研究助成金および研究関連収入/教員数	6%			
	学術生産性 論文数/教員数+研究者数	6%			
被引用論文	1論文あたりの被引用回数	30%	2015~2019年 2019年刊行物、引用回数は2015~2020年	エルゼビア社Scopus	・学問分野による引用数のばらつきを調整 ・国ごとの補正値を合成したスコア
	論文数は2015~2019年/研究者数は2017年				
産業界からの収入	産業界からの研究助成金および研究関連収入/教員数	2.5%	2017年	大学入力情報	・各国の購買力平価で調整
国際性	外国人留学生数/全学生数	2.5%	2017年	大学入力情報	・国際共著論文は、海外の共著者が最低一人が記載されている論文を対象 ・設置学部、学問分野に応じて標準化
	外国籍教員数/全教員数	2.5%	2017年	大学入力情報	
	国際共著論文数/論文数	2.5%	2015~2019年	エルゼビア社Scopus	

*1 教員数: 授業を担当している教員のみ集計

- 除外条件**
- ① 大学生(学部生)を教えていない大学
 - ② 2015~2019年の研究論文の数が1000(年間で最低150)に満たない大学
 - ③ 活動の80%以上が、THE側が定める8つの学問分野のうち1つだけに集中している大学(除外しないこともある)

世界大学ランキングから見た世界の高等教育と日本の大学

WORLD UNIVERSITY RANKINGS

コロナ禍によって一変した、世界の高等教育事情。大きな変化の中で自学の国際的なポジションを、どう向上させていくべきか。最新のTHE世界大学ランキングの結果を分析し、日本の大学が検討すべき戦略の方向性を探る。

THE WORLD UNIVERSITY RANKINGS

【図表4】評判調査の設問内容

- ① 回答者の属性情報(所属大学、職種、専門学問分野等)
- ② 「世界」で「あなたの専門学問分野で最も研究力の高い大学」と思う大学を、15大学まで挙げてください。
- ③ 「あなたの経験に基づいて」「あなたの専門学問分野で最も研究力の高い大学」と思う大学を、10大学まで挙げてください。
- ④ 「世界」で「あなたの専門学問分野で最も教育力の高い大学」と思う大学を、15大学まで挙げてください。
- ⑤ 「あなたの経験に基づいて」「あなたの専門学問分野で最も教育力の高い大学」と思う大学を、10大学まで挙げてください。
- ⑥ 「あなたの国」で「最も研究力の高い大学」と思う大学を、6大学まで挙げてください。
- ⑦ 「あなたの国」で「最も教育力の高い大学」と思う大学を、6大学まで挙げてください。
- ⑧ その他、これまでの設問では回答として選ぶことができないが、優れていると思う大学を挙げてください。
- ⑨ あなたはどのような観点から大学が「優れている」と考えて選んでいるのかを教えてください。

【評判調査の概要】

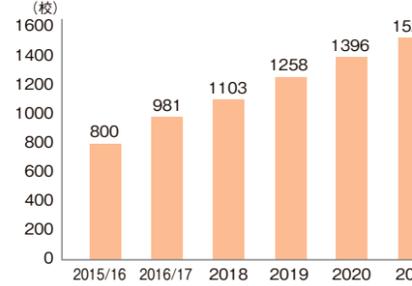
- ▶ 調査期間: 2019年11月~2020年2月
- ▶ 調査対象者: エルゼビア社のScopusに登録されている論文の著者
- ※ ユネスコの人口分布に合わせて対象者を抽出、特定の国に偏ることはない。
- ※ 評判調査はインビテーションメールを受け取った教員や研究者のみが回答できる。
- ▶ 調査実施機関: エルゼビア社
- ▶ 調査の目的: Times Higher Education (THE) が作成する多くのランキング指標の1つとして使用する。
- ▶ 調査結果が使用されるランキング:
 - ・THE World University Rankings
 - ・THE Japan University Rankings
 - ・THE World Reputation Rankings
 - ・THE Asia University Rankings
 - ・THE Young University Rankings

トップは中国の清華大学で、前年の23位から20位タイへ躍進。現行のメソッドロジーになってから、アジアの大学では初めてTOP20に食い込んだ。一方、日本の大学はTOP100に前年同様2校が入った。最上位は36位タイの東京大学。

ランキングの算出根拠となる5分野13指標は【図表3】の通りで前回から変更はなかった。ランキングに向き合う際に重要なのは、ここに掲げた指標とそのしくみを熟知し、そこから戦略を立てることにある。例えば、「教育」「研究」

の分野を構成する指標の一つである評判調査は、全指標に占める割合が33%と一番高い(「教育」分野: 15%、「研究」分野: 18%)。調査対象はエルゼビア社のScopus登録研究者で、【図表4】の質問が、メールで調査依頼されるしくみだ。あるいは30%を占める「被引用論文」。こちらもScopusを基に、1論文あたりの被引用回数(書籍も含む)がスコアになる。5年間で1000本以上の論文数の縛りはあるものの、引用されない論文の量はランキング向上には寄与しない。

【図表1】ランクイン大学数の推移



【図表2】THE世界大学ランキングTOP10

順位 2021 Rank	順位 2020 Rank	国/地域 Country/Region	教育機関 Institution
1	1	イギリス	オックスフォード大学
2	4	アメリカ	スタンフォード大学
3	7	アメリカ	ハーバード大学
4	2	アメリカ	カリフォルニア工科大学
5	5	アメリカ	マサチューセッツ工科大学
6	3	イギリス	ケンブリッジ大学
7	=13	アメリカ	カリフォルニア大学バークレー校
8	8	アメリカ	イェール大学
9	6	アメリカ	プリンストン大学
10	9	アメリカ	シカゴ大学

*この特集では、ランク付けされた数をランクイン数と表記しています。

世界大学ランキング2021 結果分析

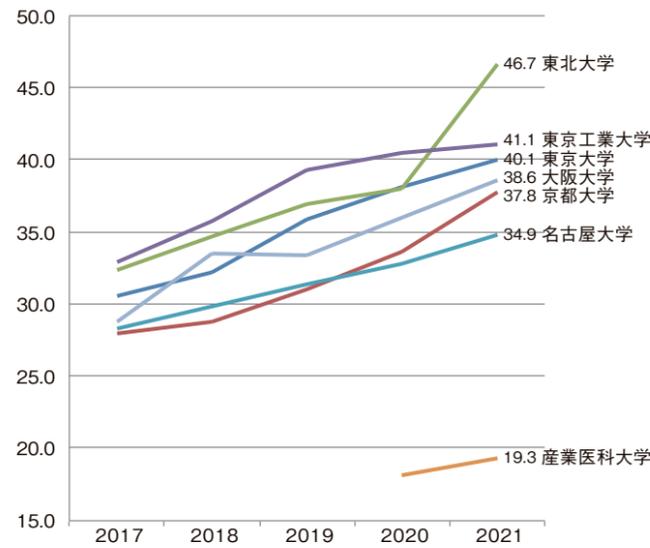
ランキング数は過去最多
アジアの躍進と競争激化

2020年9月、イギリスの高等教育専門誌THE (Times Higher Education) は、最新の世界大学ランキングを発表した。今回、ランクインしたのは、世界93か国・地域の1526校。ラテンアメリカや中東地域からの新たな参加が増えたことで、ランクイン大学数は過去最多を記録した【図表1】。年を追うごとに、より広い地域から研究・教育の国際競争に参加する大学が増えてきていると言えよう。

TOP10に目を向けると【図表2】、オックスフォード大学(イギリス)が5年連続で1位の座をキープしたものの、2位は前年4位のスタンフォード大学(アメリカ)、3位は前年7位から順位を上げたハーバード大学(アメリカ)だった。前年3位だったケンブリッジ大学(イギリス)は6位に後退し、トップグループでのアメリカの躍進、イギリスの地位低下がうかがえる。

ランキングが始まって以来、アジアからは最多の16校がTOP100入りし、うち13校は前年から順位を上げている。

【図表7】日本の総合順位TOP5に入った大学の「国際性」スコア推移



「産業界からの収入」では、東北大学がスコアを6・6上げて、世界98位から75位に上げたことは注目に値するだろう。「被引用論文」では、産業医科大学がスコアを100として、この分野の世界第1位タイに。日本医科大学はスコアを11・7アップさせ、国内順位を前年10位から6位に上げた。

課題だった「国際性」にスコア上昇の兆しが

今回、日本の大学は116校(国立57、公立12、私立47)がランキン。総合順位では東京大学が国内でトップの36位タイ。2位の京都大学は前年から11ランクアップさせて54位タイとし、3位の東北大学も前年から順位帯をアップさせ201-250に入った。

日本の大学の結果分析

ただし、順位(帯)が上がったのはこの2校のみで、23校もの大学が前年から順位(帯)を落とし、800位以降が多数を占める「裾野型」のランキング構造がさらに進んだ形となった。なお、今回初ランキンしたのは、獨協医科大学、金沢医科大学、高知工科大学、京都産業大学、大阪工業大学、龍谷大学の6校だった。

「教育」「研究」は上位にめだつた変化はないが、東北大学が「研究」のスコアを6・6上げて、世界98位から75位に上げたことは注目に値するだろう。「被引用論文」では、産業医科大学がスコアを100として、この分野の世界第1位タイに。日本医科大学はスコアを11・7アップさせ、国内順位を前年10位から6位に上げた。

【図表8】THE世界大学評判ランキング2020結果

順位(内は前回)	機関名
10(11)	東京大学
23(27)	京都大学
61-70(71-80)	大阪大学
71-80(61-70)	東北大学
81-90(同)	東京工業大学
101-125	北海道大学
101-125	名古屋大学
126-150	九州大学
151-175	慶應義塾大学
176-200	理化学研究所
176-200	筑波大学
176-200	早稲田大学

「国際性」は長年、日本の大学の課題となっていたが、総合で国内5位までに入った大学の過去5か年の推移を見ると、どの大学もスコアを伸ばしている【図表7】。各大学の国際共同研究の推進、グローバル化への取り組みが成果を出しつつあるのではないかと。なお、THEは2020年11月に、世界132か国の研究者からの評判を基にした「世界大学評判ランキング2020」を発表した(200位まで公表)【図表8】。日本の12機関がランキンし、私立大学も2校が名を連ねている。この調査は次のランキングに反映される予定だ。

大学の総合的な評判を高めるのは容易ではないが、まず自学が強いを持つ学問分野で国際的なプレゼンスを高アを86・4↑97・4に上昇させ、世界74位↓42位にまでアップさせている。名古屋大学もスコアを上げて、世界88位とTOP100に足を踏み入れた。

「国際性」で世界TOP100に入った国内大学は今回も現れなかったが、ここでも東北大学がスコアを8・6ポイント上げて、国内2位にランキンアップしている。「国際性」は長年、日本の大学の課題となっていたが、総合で国内5位までに入った大学の過去5か年の推移を見ると、どの大学もスコアを伸ばしている【図表7】。各大学の国際共同研究の推進、グローバル化への取り組みが成果を出しつつあるのではないかと。なお、THEは2020年11月に、世界132か国の研究者からの評判を基にした「世界大学評判ランキング2020」を発表した(200位まで公表)【図表8】。日本の12機関がランキンし、私立大学も2校が名を連ねている。この調査は次のランキングに反映される予定だ。

【図表5】主要国/地域別の各順位帯別ランキン数

順位	アメリカ	日本	イギリス	中国	インド	ドイツ	フランス	台湾	オーストラリア	韓国	カナダ	香港	シンガポール
1~100	37	2	11	6	0	7	3	1	6	2	5	3	2
101~200	22	0	18	1	0	14	2	0	6	5	3	2	0
201~300	22	1	8	2	0	10	3	0	10	1	6	0	0
301~400	18	4	11	6	2	7	5	2	5	2	2	1	0
401~500	19	3	12	7	1	3	4	2	1	0	2	0	0
501~600	11	3	6	11	0	1	6	3	4	1	3	0	0
601~800	26	7	14	17	15	5	10	1	2	5	5	0	0
801~1000	18	13	14	25	15	1	7	9	3	6	3	0	0
1001+	8	83	7	16	30	0	1	20	0	13	1	0	0
総計	181	116	101	91	63	48	41	38	37	35	30	6	2

【図表6】TOP200内の国/地域別校数とトップ校

国/地域	校数(内は前回)	国/地域内で最高順位の教育機関とその順位
アメリカ	59(60)	スタンフォード大学 2位
イギリス	29(28)	オックスフォード大学 1位
ドイツ	21(23)	ルートヴィヒ・マクスミリアン大学ミュンヘン 32位
オーストラリア	12(11)	メルボルン大学 △31位
オランダ	11(11)	ヴァーヘニンゲン大学 ▼62位
カナダ	8(7)	トロント大学 18位
スイス	7(7)	スイス連邦工科大学チューリッヒ校 ▼14位
中国	7(7)	清華大学 △20位
韓国	7(6)	ソウル大学 △60位
香港	5(5)	香港大学 ▼39位
スウェーデン	5(5)	カロリンスカ研究所 △36位
フランス	5(5)	PSL研究大学パリ ▼46位
ベルギー	4(4)	ルーヴェン・カトリック大学 ▼45位
デンマーク	3(3)	コペンハーゲン大学 △84位
イタリア	3(3)	ボローニャ大学 ▼167位
スペイン	3(2)	ボンベウ・ファブラ大学 ▼152位
シンガポール	2(2)	シンガポール国立大学 25位
日本	2(2)	東京大学 36位
フィンランド	1(2)	ヘルシンキ大学 ▼98位
南アフリカ	1(2)	ケープタウン大学 ▼155位
台湾	1(1)	国立台湾大学 △97位
ノルウェー	1(1)	オスロ大学 △127位
ニュージーランド	1(1)	オークランド大学 △147位
アイルランド	1(1)	トリニティカレッジダブリン △155位
オーストラリア	1(1)	ウィーン大学 ▼164位
ロシア	1(1)	M.V.ロモノーソフモスクワ国立総合大学 △174位
イスラエル	1(1)	テルアビブ大学 ▼191位

※「△」: 前回よりアップ/「▼」: 前回よりダウン(いずれも前回のトップ大学の順位との比較)

さらに、コロナ禍の影響から、多くのアメリカの大学は財政危機に見舞われた一方で、政府からの援助が大きい中国の大学はさほど打撃を受けていない。THEチーフ・ナレッジ・オフィサーのフィッセル・ベイティ氏は「学生と教員の国際的流動性が下がることによって欧米の大学の資金調達に難しければ、アジアの大学はさらに勢いづく」との見解を述べている。

1001+の順位帯に集中する日本の大学

国/地域別の状況に目を移そう。【図表5】は主要国/地域別のランキン数を示したものだ。めだつのはインドの躍進だ。今回、初ランキンした全141校中、最多の14校を占め、ランキン数は過去最多の63校となった。東アジア勢に目を向けると、前年から日本は110↓116校、中国は81↓91校、韓国31↓35校とランキン数が増加している。ただし、中国はTOP100のランキン数を前年の3校から6校

アジア勢の躍進はコロナ禍後も続くのか?

今回のランキングでは、アジア(清華大学、北京大学、復旦大学、中国科学技術大学、浙江大學、上海交通大學)に増やしたのに対して、日本は2校(東京大学、京都大学)のみだ。日本はランキン数世界第2位を堅持しているが、約7割が1001+に集中している。なお、一般的に国際的にプレゼンスが高いと見なされるTOP200に入る大学の国/地域別の数は、【図表6】の通りだ。

勢の台頭を受けて英米の地位が相対的に低下するという状況が浮かび上がった。中期的に見ても中国の進展は著しく、2015/16年版ランキングで2011-300の順位帯に位置していた4大学のうち3大学が、最新ランキングで100位以内に入ってきた。対照的にアメリカでは、2015/16年の2011-300の順位帯に位置していた大学が100位以内に入った例はない。THEは「ランキン中位レベルで見ると、中国の大学の研究の質は、アメリカの大学を上回りつつある」と指摘している。

*「=」:同順位の大学あり / 「-」:ランク外 / 世界の総合順位についてのみ「△」:前回よりアップ / 「▼」:前回よりダウン / 「◎」:初ランクイン
*同ランクでの掲載順は原則大学名の英語表記のアルファベット順による *各分野の「世界順位」は、各分野内での順位を示す

国立 公立 私立

世界ランキング2021 日本の大学の結果一覧

国際性 国内TOP50

国内順位	世界順位	教育機関	スコア
1	251-300	会津大学	70.6
2	601-800	東北大学	46.7
3		立教大学	46.4
4		筑波大学	44.6
5		上智大学	43.5
6		北海道大学	41.9
7		東京工業大学	41.1
8		九州大学	40.7
9	801-1000	早稲田大学	40.3
10		東京大学	40.1
11		大阪大学	38.6
12		京都産業大学	38.0
13		京都大学	37.8
14		広島大学	37.0
15		立命館大学	36.8
16		名古屋大学	34.9
17		関西学院大学	33.7
18		長岡技術科学大学	33.6
=19		慶應義塾大学	33.4
		東京海洋大学	33.4
=21		埼玉大学	32.9
		東洋大学	32.9
23	1001+	神戸大学	32.3
24		室蘭工業大学	32.1
25		高知工科大学	31.7
26		九州工業大学	31.5
27		芝浦工業大学	31.2
28		熊本大学	30.9
29		香川大学	30.8
30		長崎大学	30.6
31		岡山大学	30.3
32		静岡大学	30.0
33		電気通信大学	29.7
34		青山学院大学	29.4
=35		中部大学	29.2
		愛媛大学	29.2
		琉球大学	29.2
		豊橋技術科学大学	29.2
=39		神奈川大学	28.3
		富山大学	28.3
=41		東京医科歯科大学	28.2
		東京農工大学	28.2
		横浜国立大学	28.2
44		法政大学	28.1
45		同志社大学	27.7
46		東京都立大学	27.6
=47		名城大学	27.3
49		山口大学	27.3
49		明治大学	27.2
50		千葉大学	26.7

産業界からの収入 国内TOP50

国内順位	世界順位	教育機関	スコア
1	42	東北大学	97.4
2	88	名古屋大学	87.7
3	109	東京大学	82.6
4	=123	九州大学	79.0
5	142	京都大学	74.6
6	161	東京工業大学	71.8
7	201-250	東京医科歯科大学	65.9
8		北海道大学	64.6
9		大阪大学	64.0
10	251-300	徳島大学	59.0
11		岡山大学	58.5
12	301-350	広島大学	55.1
13		豊橋技術科学大学	53.1
14	351-400	九州工業大学	51.0
15		横浜国立大学	50.5
16		山形大学	50.0
17		佐賀大学	49.6
18		名古屋工業大学	49.4
19		東京海洋大学	49.0
20		東京農工大学	48.2
21	401-500	順天堂大学	47.7
22		筑波大学	47.1
23		富山大学	46.5
24		千葉大学	46.1
25		名古屋市立大学	45.0
26		滋賀医科大学	44.9
27		熊本大学	44.4
28		京都府立医科大学	44.3
29		長岡技術科学大学	44.0
=30	501-600	慶應義塾大学	43.6
		東京都市立大学	43.6
=32		愛媛大学	42.9
		札幌医科大学	42.9
34		兵庫県立大学	42.5
35		三重大学	42.4
=36		奈良県立医科大学	42.2
		大阪府立大学	42.2
		山口大学	42.2
39		北里大学	42.1
=40		鹿児島大学	41.7
		高知工科大学	41.7
42	601-800	大阪市立大学	41.5
43		信州大学	41.4
44		琉球大学	41.3
45		東京理科大学	41.1
46		京都市工芸繊維大学	40.9
47		東邦大学	40.7
48		工学院大学	40.6
49		長崎大学	40.5
50		千葉工業大学	40.3

被引用論文 国内TOP50

国内順位	世界順位	教育機関	スコア
1	=1	産業医科大学	100.0
2	=105	帝京大学	92.3
3	201-250	藤田医科大学	85.4
4	351-400	関西医科大学	72.8
5	401-500	横浜市立大学	68.7
6		日本医科大学	66.8
7	501-600	京都大学	60.8
8		久留米大学	59.4
9		会津大学	58.6
10	401-500	東京慈恵会医科大学	58.4
11		東京大学	57.7
12		近畿大学	56.6
13	601-800	東京医科歯科大学	53.4
14		東京都立大学	50.6
15		立教大学	46.9
=16		兵庫医科大学	45.3
		新潟大学	45.3
18	801-1000	東京医科大学	40.5
19		京都府立医科大学	39.7
20		室蘭工業大学	38.6
21		徳島大学	38.5
22		慶應義塾大学	38.4
23		東北大学	38.1
24		聖マリアンナ医科大学	37.4
25		滋賀医科大学	37.0
26		愛知医科大学	36.8
27		神戸大学	36.1
28		筑波大学	35.0
29		東京工業大学	34.7
30		大阪大学	34.0
31		九州大学	33.8
32		信州大学	32.0
33	1001+	順天堂大学	31.4
=34		千葉大学	30.9
		東邦大学	30.9
=36		埼玉医科大学	30.7
		信州大学	30.7
38		関西学院大学	29.5
39		北海道大学	29.4
=40		群馬大学	28.6
		岡山大学	28.6
41		京都市立医科大学	28.6
42		富山大学	28.3
=43	1001+	兵庫医科大学	28.2
		愛媛大学	27.6
45		埼玉大学	27.3
46		京都市工芸繊維大学	27.4
47		法政大学	27.2
48		富山大学	26.9
49		香川大学	26.8
=50		熊本大学	26.0
		早稲田大学	26.0

研究 国内TOP50

国内順位	世界順位	教育機関	スコア
1	16	東京大学	90.7
2	32	京都大学	79.9
3	75	東北大学	61.0
4	103	東京工業大学	54.2
5	119	大阪大学	50.6
6	142	名古屋大学	47.8
7	195	九州大学	42.3
8	198	北海道大学	41.5
9	201-250	筑波大学	39.0
10	401-500	東京医科歯科大学	58.4
11		慶應義塾大学	25.2
12	501-600	早稲田大学	24.2
13		東京農工大学	24.1
14		東京理科大学	23.6
15		広島大学	23.5
16		神戸大学	23.4
17	601-800	電気通信大学	19.9
18		岡山大学	19.8
19		名古屋工業大学	19.1
=20		千葉大学	18.5
		岡山大学	18.5
22		金沢大学	18.2
23		豊橋技術科学大学	17.6
24		横浜国立大学	16.9
25	801-1000	大阪府立大学	16.5
26		名古屋市立大学	15.5
27		京都工芸繊維大学	15.0
28		熊本大学	14.9
=29		長岡技術科学大学	14.8
		芝浦工業大学	14.8
=31		滋賀医科大学	14.7
		信州大学	14.7
33	601-800	千葉大学	14.6
=34		東京都立大学	14.5
		浜松医科大学	14.5
36		大阪市立大学	14.4
37		東京海洋大学	14.1
38		静岡大学	14.0
=39		順天堂大学	13.9
		群馬大学	13.9
41		京都市立医科大学	13.8
42		富山大学	13.6
=43	1001+	兵庫医科大学	13.1
		愛媛大学	13.1
45		高知工科大学	13.0
46		九州工業大学	12.9
47		会津大学	12.8
48		新潟大学	12.7
=49		お茶の水女子大学	12.6
		立命館大学	12.6

教育 国内TOP50

国内順位	世界順位	教育機関	スコア
1	11	東京大学	87.9
2	24	京都大学	77.9
3	66	東北大学	57.7
4	97	大阪大学	52.0
5	99	東京工業大学	51.8
6	119	名古屋大学	47.7
7	=136	東京医科歯科大学	46.1
8	=147	九州大学	45.3
9	=150	北海道大学	45.0
10		筑波大学	43.5
11	351-400	順天堂大学	33.6
=12		慶應義塾大学	32.1
		神戸大学	32.1
14	401-500	早稲田大学	30.8
15		昭和大学	30.4
16		京都府立医科大学	30.1
17		広島大学	29.4
=18	501-600	東京医科大学	28.9
		札幌医科大学	28.9
20		兵庫医科大学	28.8
=21		岡山大学	27.8
		大阪医科大学	27.8
23		浜松医科大学	27.7
24		東京慈恵会医科大学	27.6
=25		関西医科大学	27.5
		埼玉大学	27.5
27		東京農工大学	27.2
28		京沢大学	27.1
=29		産業医科大学	27.0
		聖マリアンナ医科大学	27.0
31		滋賀医科大学	26.8
32		奈良県立医科大学	26.7
33	601-800	千葉大学	26.3
34		日本医科大学	26.2
35		長崎大学	26.1
=36		愛知医科大学	25.9
		熊本大学	25.9
38		大阪市立大学	25.6
=39		藤田医科大学	24.8
		群馬大学	24.8
=41		名古屋市立大学	24.5
		山梨大学	24.5
=43		東京都立大学	24.4
		北里大学	24.4
45		高知工科大学	24.4
=46		獨協医科大学	24.3
		豊橋技術科学大学	24.3
=48		宇都宮大学	23.9
		山形大学	23.9
		山口大学	23.9
50		中央大学	23.7

国内順位	世界順位	世界順位2020	教育機関	アジア順位2020	日本版順位2020	インフラ順位2020
*	1001+	1001+	高知大学	351-400	89	-
*	*	*	◎高知工科大学	-	=72	-
*	*	1001+	工学院大学	401+	121-130	601+
*	*	801-1000	▼熊本大学	251-300	27	601+
*	*	1001+	関西学院大学	401+	=45	401-600
*	*	*	◎京都産業大学	-	101-110	601+
*	*	1001+	京都工芸繊維大学	351-400	26	-
*	*	1001+	九州工業大学	251-300	38	-
*	*	1001+	明治大学	401+	=53	-
*	*	1001+	名城大学	401+	141-150	-
*	*	1001+	三重大学	351-400	94	401-600
*	*	1001+	富山大学	351-400	111-120	-
*	*	801-1000	▼室蘭工業大学	251-300	131-140	-
*	*	1001+	長岡技術科学大学	351-400	17	-
*	*	1001+	長崎大学	301-350	43	-
*	*	1001+	名古屋市立大学	251-300	=91	201-300
*	*	1001+	名古屋工業大学	351-400	56	-
*	*	1001+	奈良県立医科大学	351-400	121-130	-
*	*	1001+	お茶の水女子大学	351-400	25	-
*	*	1001+	大分大学	351-400	151-200	-
*	*	1001+	立命館大学	351-400	33	101-200
*	*	*	◎龍谷大学	-	=100	-
*	*	1001+	琉球大学	351-400	111-120	401-600
*	*	1001+	佐賀大学	351-400	80	-
*	*	1001+	埼玉大学	301-350	83	-
*	*	1001+	埼玉医科大学	301-350	-	-
*	*	801-1000	▼札幌医科大学	201-250	99	-
*	*	1001+	芝浦工業大学	401+	35	601+
*	*	1001+	滋賀医科大学	301-350	101-110	-
*	*	1001+	島根大学	401+	=81	401-600
*	*	1001+	信州大学	301-350	52	201-300
*	*	1001+	静岡大学	351-400	87	-
*	*	1001+	静岡岡島立大学	401+	84	-
*	*	1001+	昭和大学	301-350	151-200	-
*	*	1001+	上智大学	351-400	20	401-600
*	*	801-1000	▼聖マリアンナ医科大学	251-300	151-200	-
*	*	1001+	東邦大学	301-350	151-200	-
*	*	1001+	徳島大学	351-400	141-150	301-400
*	*	1001+	東京農工大学	251-300	69	401-600
*	*	1001+	東京農業大学	401+	101-110	601+
*	*	801-1000	▼東京工業大学	251-300	=18	-
*	*	1001+	東京都市立大学	401+	141-150	401-600
*	*	1001+	東京電機大学	401+	151-200	-
*	*	801-1000	▼東京海洋大学	351-400	=29	-
*	*	1001+	東京理科大学	251-300	39	301-400
*	*	1001+	鳥取大学	401+	59	401-600
*	*	1001+	富山大学	301-350	79	-
*	*	1001+	東洋大学	401+	64	401-600
*	*	1001+	豊橋技術科学大学	301-350	32	-
*	*	1001+	宇都宮大学	401+	=70	401-600
*	*	1001+	山形大学	351-400	=65	-
*	*	1001+	山口大学	351-400	=65	201-300
*	*	1001+	山梨大学	301-350	121-130	-
*	*	1001+	横浜国立大学	301-350	31	301-400

総合順位 (全ランクイン大学)

国内順位2021	世界順位2021	世界順位2020	教育機関
----------	----------	----------	------

知っておきたい THE ランキングの新たな動き

新たな指標の導入、格付け、学生パネルも

今後のTHE世界大学ランキングの動向として最も注目すべきは、指標の変更だろう。現時点で「被引用論文」のベースとなった指標はFWCI（P.25参照）だが、今後は「被引用論文」を構成する指標が3つ程度に増えると言われており、より多角的に論文の有効性が測れるようになると思われる。指標の変更に関する情報が発表されるのは2021年9月の予定。新たな指標が反映されたランキングが発表されるのは2022年になる見込みだ。

また、THEは2020年7月に、「THE China Subject Ratings」を発表した。これは中国教育部が設定する学術分野分類（89学術分野）に基づいて世界の大学を格付けし、中国の大学と比較したもの。THE世界大学ランキング2020のデータを用い、11の指標で各大学の各学術分

野をA+〜C-の9段階で格付けしている。全世界の1355大学が対象になっており、日本の大学も88大学が格付けされている。

加えて、THEがオンライン上で定期的な「学生パネル」を実施し、学生の声を集めようとする動きもある。日本でも文部科学省が全国学生調査を試行実施したが、世界的に「最大のステークホルダーである学生の声にもっと耳を傾けよう」という流れができてきたのではないかと。

そのほか、日本の大学が注目したいのは「THEアワードアジア」だ。これは、従来の大学ランキングとは異なり、大学の卓越した改革の取り組み内容に賞を与えるもの。「リーダーシップとマネジメント」「国際戦略」「教育学習戦略」など10のカテゴリごとにベストプラクティスを表彰する。10のうち8カテゴリーは自薦でエントリーできる。改革の内容が優れたものであれば、国際的にスポットライトが当たる可能性がある。最

日本の大学6校が最終選考に残った THEアワードアジア2020

2020年のTHEアワードアジアでは、250の大学が応募し、日本の大学は6校（7カテゴリー）が最終選考に残った。その中で沖縄科学技術大学院大学（OIST）は「学生募集活動」のカテゴリで大賞を受賞している。

最終選考に残った日本の大学

カテゴリー	最終選考に残った日本の大学	大賞受賞大学
学生募集活動	東京理科大学、 沖縄科学技術大学院大学 (OIST)	沖縄科学技術大学院大学 (OIST)
教育・学習戦略	藤田医科大学	アン・ナジャ国立大学 (パレスチナ)
地域・社会に対するインパクト※	東京大学	成均館大校 (韓国)
テクノロジーによる革新	東京理科大学	清華大学 (中国)
組織の活性化	梅光学院大学	KIIT (インド)
国際戦略	昭和女子大学	南方科技大学 (中国)
学生支援	沖縄科学技術大学院大学 (OIST)	Katalyst、ブネ工科大学、 ピールマタジャバ工科大学 (インド)

*カテゴリーはそのほかに、「芸術の振興」「データポイントメトリックアワード」「リーダーシップとマネジメント」など全10カテゴリー。
※データを基に自薦でなくTHEと審査員が選考

終選考に残るだけでも海外に向けてのよいアピール材料になるので、自学の実績や特色に強みを持つ大学は参加を考えてはどうか。加えて、昨年9月に始まったオンライン教育の好事例を共有するプラットフォーム「THE Campus」も注目に値するだろう。

世界の社会状況が大きく変化中、海外の高等教育の動きを把握し、国際的なネットワークを築くことはますます重要になる。コロナ禍でTHEのイベントもオン

ライン開催が増え、日本にいながらにして世界のトレンドを知り、国内外の大学から改革のヒントやアイデアを収集することも可能になっている。チャット機能も設けられているので、海外の高等教育関係者と気軽にコミュニケーションが取りやすい。

さらに本年6月には藤田医科大学がホストとなる「THEアジア大学サミット」が開催予定だ。高等教育の世界的な潮流を知るために、ぜひ参加いただきたい。

性に気づき、最近では龍谷大学のように、中長期計画の指標としてランキングを使う大学が増えてきています。これは、さまざまな大学の教育、研究、評判のデータが含まれるランキングデータが、ベンチマーキングに使いやすいことに理由があります。ベンチマーク校と比べての強み弱みを把握し、強みを伸ばす戦略をとるのか、それとも弱みを補強する戦略にするのかといった、限られたリソースを最大限に生かすための意思決定がしやすいのです。

限られたリソースをどう生かし、改革につなげるか

ランキングを大学改革に活用する際、下図のようなランキングマネジメントサイクルが有効な手だてとなります。これは、ランキングエントリーを起点に「結果分析」→「戦略立案」→「実行」→「総括」といったPDCAサイクルを回していくというもの。そのポイントを紹介しましょう。

まず、エントリー時に重要なのは「共通の目標を立てる」こと。どのランキングで、どのあたりの順位やスコアを何年かけてめざすのか。これが改革の土台になります。次に結果分析です。研究や教育の強み、課題をベンチマーキングによって把握し、それを基に戦略を立てます。そして、実行、総括を行い、また目標との差を確認し、次の計画行動に生かします。ランキングマネジメントの利点は、「限られたリソースの中で、大学の強みを最大限生かし、改革を実行していること」にあります。その意味で、大学経営における意思決定には欠かせない手段と言えるでしょう。

日本が世界の中で存在感を高めるためには、国内の大学が協力することも有益ではないでしょうか。そこで私たちは、各大学の取り組みを共有し、知見を持ち帰って自学の戦略に生かす情報交換の場として、「ランキングマネジメント研究会」を設立しました。現在、9大学が参加しており、今後はSDGsへの貢献度を測るインパクトランキングマネジメント研究会の開催も検討しています。ご期待ください。

大学経営の意思決定を支援する ランキングマネジメントの重要性



(株)進研アド
マーケティング戦略部
矢能京香
やのつきょうか ●近畿圏の大学改革支援を経て、国内外の大学のブランディング支援を行う。

国際的な競争が激化する中 ブランディングにどう取り組むか

折からのコロナ禍によるコミュニケーションのオンライン化で、国際的な学術連携が活性化しています。協定を結ぶか結ばないか判断する際には、国際的な評価の裏付けとして世界ランキングを利用する大学があるようです。また、海外留学希望者への奨学金支給の条件にランキング上位校への留学を課す国もあり、留学生獲得にもランキングは影響します。このように、ランキングの活用は、国際戦略の重要項目だと言っても差し支えないでしょう。

国際的な競争が激化する中で、ランキングにおける日本の大学の最大の課題は、指標の33%を占めるレピュテーションです。世界的な評判を高めるためには、全学を挙げての改革やブランディングが必須ですが、縦割り組織の中それがかなわず、各部署の努力がブランディングにつながらない大学が多いようです。しかし、今回ランキングで順位帯を上げた東北大学のように、全学一体で戦略的国際化を進める大学もあります。ブランディングは大学の総合力を示すものであるため、各部署を巻き込んだワーキンググループをつくって取り組むなど、組織体制が重要です。

さて、ランキングの本来の目的は順位を上げることではなく、「改革を促進するための客観データとして活用すること」、そして「第三者評価の一つとして、自学のブランディングにつなげること」です。その有用

